

Atsugi

広報あつぎ 

Public Relations Paper Atsugi City

特別号 厚木市 2021

事業と予算のあらまし



新しい総合計画が
スタート

三田地区で撮影

2021年度の目玉事業を一挙に紹介



予算記者会見で

2021年度 施政方針要約

一人一人の希望は 未来を照らす光

市議会第2回会議の初日、市政運営の考え方や重点的に取り組む施策を表明しました。議会では、総額1522億3008万1千円の「あつぎの元気希望予算」が成立しました。

厚木市長 小林 常良

新型コロナウイルス感染症は、いまだに深刻な状況が続いています。最前線で戦う医療従事者をはじめ、関係者の皆さまには、厚く感謝を申し上げます。これほどまでに「当たり前の生活」が尊いと実感した一年はありませんでした。先行きの見えない不安の中、市民の皆さまも同じ思いではないでしょうか。これまで市では、学校、医療機関、福祉施設などでの感染症拡大防止対策への支援をはじめ、事業者の皆さまに対する経済支援など、市民の皆さまの命と生活を守ることを最優先に取り

組んでまいりました。

新たな総合計画を策定

昨今は、感染症の脅威に加え、災害や地球温暖化、少子高齢化の進展など、誰もが経験したことのない厳しい局面を迎えています。持続可能なまちであり続けるためには、脱炭素・循環型社会と地域包括ケア社会の実現や、地域の特性に応じた誰もが暮らしやすいコンパクト・プラス・ネットワーク型の都市づくり、まちの活力向上



市立病院で医療従事者の皆さんと

に向けた都市基盤整備が求められています。多くの課題を解決すべく、昨年12月には、今後12年間にわたる行政運営の最高指針「第10次総合計画基本構想」を策定しました。



厚木中央公園を起点に雨水をためる貯留管を設置

本市が目指す将来都市像は、「自分らしさ輝く 希望と幸せあふれる 元気なまち あつぎ」。市民の皆さまが多様性を認め合いながら、安心して暮らせるまちづくりを進めていくという^{おも}い、そして、先人が守り、育ててきた自然や文化、産業など、魅力ある資源を最大限に生かし、将来にわたって活気にあふれたまちを実現するという想いが込められています。

市民協働でまちづくり

そして、総合計画のもう一つの大切なキーワードは、「自分ごと」です。これは、SDGs (P17参照)が目指す「誰一人取り残さない」社会の実現にも寄与するものです。行政や議会だけでなく、市民の皆さま、事業者の皆さまが主体的にまちづくりに参画し、想いを一つにして施策を推進するために欠かせないものです。

これまで市民の皆さまと共に進めてきた「市民協働」は、本市の大切な財産であり、市民の皆さまが

まちづくりを「自分ごと」として捉え、取り組んだ成果です。今後も引き続き、市民の皆さまと手を携え、新たな時代に向けたまちづくりを進めてまいります。

希望の光で未来を照らす

今年の市政運営のテーマには、「希望」を掲げました。希望とは、どんなに困難な状況でも、決して絶やしてはならない光です。一日も早く今までの日常生活を取り戻し、市民の皆さまが希望と幸せを実感できる社会の実現に向け、市政運営に全力を尽くしてまいります。

2021年度当初予算は、一般会計872億円、特別会計を合わせた総額は1522億円を超え、いずれも過去最大となる「あつぎの元気希望予算」として編成しました。六つのまちづくりのビジョンに基づく施策を中心に、特に「感染症対策」「安心・安全に暮らせるまち」

「誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができるまち」「デジタル化の推進及び自然環境と共生した持続可能なまち」につながる取り組みを重点的に進めてまいります。

コロナ禍を乗り越えた先には、必ずや希望に満ちた未来が待っていると、私は信じています。心から笑い合える日常を取り戻すため、今こそ一丸となって、この困難を乗り越えましょう。

市民の皆さま一人一人の希望は、未来を照らす光となり、前に進む原動力となります。個性という彩りが自分らしく輝き、誰もが未来への希望を胸に、幸せを実感できるよう、全身全霊、まちづくりにまい進してまいります。



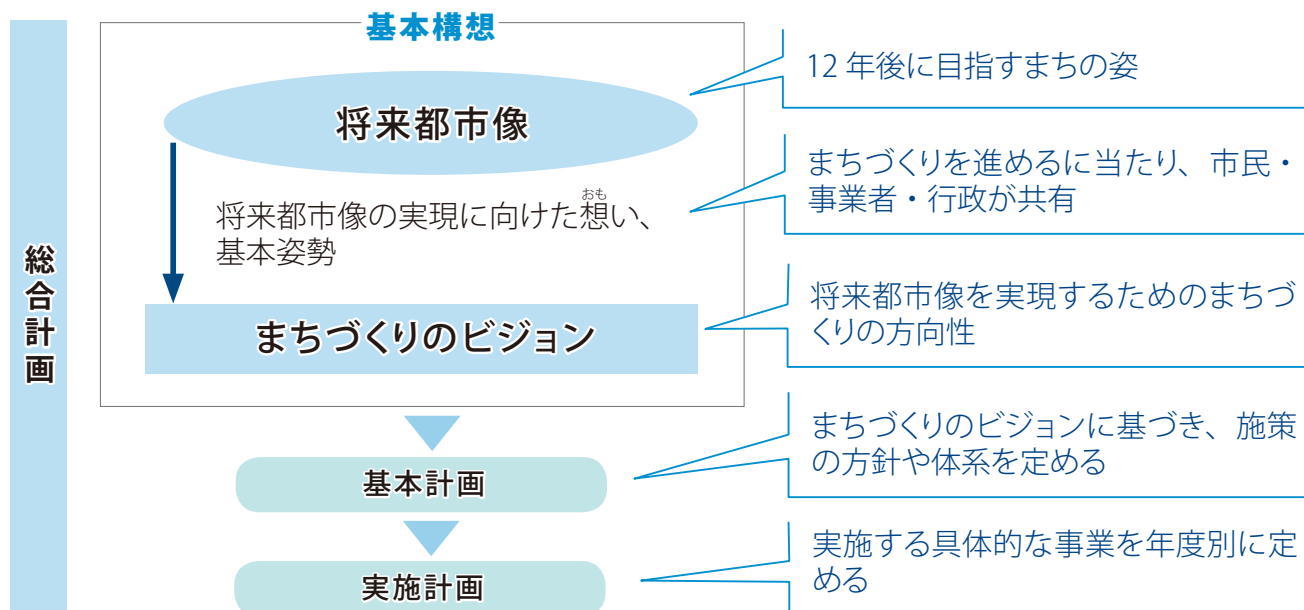
酒井地区の土地区画整理事業の進捗を視察

あつぎの 元気希望予算 2021

あつぎの元気希望予算	5
一般会計	6
五つの主要事業	
①安心・安全に暮らせるまち	8
◆指定避難所等強化事業	
◆南毛利・相川分署整備事業	
②誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができるまち	10
◆コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	
③デジタル化の推進及び自然環境と共生した持続可能なまち	12
◆GIGA スクール推進事業	
◆子育てパスポート電子化リニューアル事業	
◆EV ごみ収集車導入事業	
④新たな総合計画の推進	14
◆母子支援関連事業	
◆医療的ケア児訪問看護支援事業	
◆若年世帯住宅取得支援事業補助金	
⑤感染症対策	15
◆新型コロナウイルスワクチン接種事業	
新たな総合計画がスタート	16

総合計画って？

総合計画は、将来のまちの姿や、それを実現するための取り組みなどを決める長期的な計画です。子育てや防災、ごみの処理など、あらゆる市の取り組みは、全て総合計画に基づいて実施されています。2021年度から、12年間のまちづくりの方向性を定める第10次総合計画が、新しく始まります。《P16-19に関連ページ》



2021年度

あつぎの元気希望 予算

問 財政課 ☎225-2170

予算

過去
最大

総額 **1522億3008万1千円**
(前年度比1.8%増)

一般会計

過去
最大

総額 **872億円**
(前年度比1.5%増)

6・7
ページへ

特別会計

総額 **418億6729万2千円**
(前年度比 2.1%増)

特別会計は、特定の歳入を特定の歳出に充て、目的に応じて使う会計です。市には四つの特別会計があります。

公共用地取得事業特別会計

16億8829万2千円(前年度比4.0%増)
公共用地の先行取得など

後期高齢者医療事業特別会計

32億5500万円(前年度比1.4%増)
後期高齢者への医療給付に必要な保険料の徴収など

国民健康保険事業特別会計

214億4300万円(前年度比1.5%減)
国民健康保険料が主な財源で、被保険者が病気やけがをした場合の給付など

介護保険事業特別会計

154億8100万円(前年度比7.5%増)
介護保険料が主な財源で、被保険者が介護サービスを利用した場合の給付など

公営企業会計

総額 **231億6278万9千円**
(前年度比 2.0%増)

公営企業会計は、民間企業と同じように事業収入で運営している事業の会計です。病院事業と公共下水道事業が該当します。

病院事業会計

市立病院の運営

●収益的収支(前年度比)

収益 118億626万6千円(2.7%増)
費用 117億3255万7千円(1.7%減)

●資本的収支(前年度比)

収入 6億3913万円(2.6%増)
支出 9億7693万3千円(4.0%減)

公共下水道事業会計

下水道の建設や維持管理費

●収益的収支

収益 64億2122万2千円(1.1%減)
費用 62億4452万8千円(1.7%減)

●資本的収支

収入 27億8298万5千円(37.5%増)
支出 42億877万1千円(24.1%増)

一般会計

総額872億円

一般会計は、福祉や防災、道路、教育など市の基本的な仕事の収入と支出を管理する会計です。

歳入

譲与税・交付金

77億4600万円

地方譲与税や地方消費税交付金など

市債

72億8370万円

公共事業の財源とするための長期借入金

国・県支出金

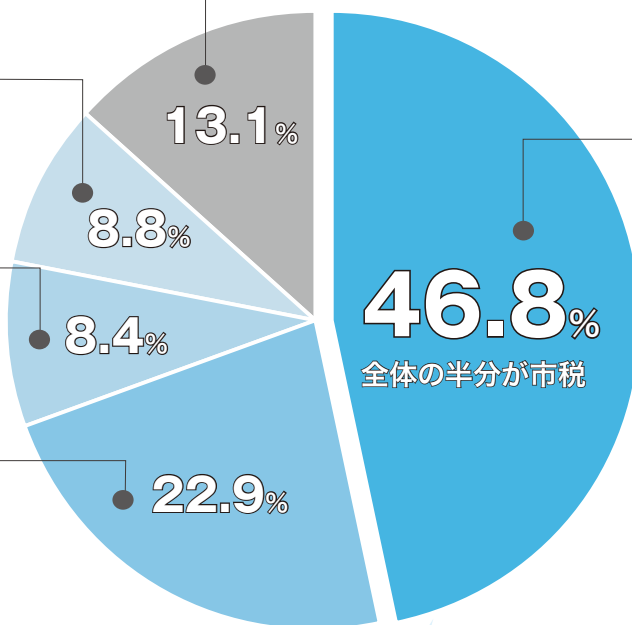
199億4599万円

使い道が特定されている国や県からの補助金

その他

114億1911万円

使用料・手数料、諸収入、基金からの繰入金など



市税

408億520万円

市民税や固定資産税、都市計画税など

46.8%

全体の半分が市税

<市税収入の内訳>

その他

23億6856万円

軽自動車税、市たばこ税、入湯税

都市計画税

23億6723万円

固定資産税

195億2021万円

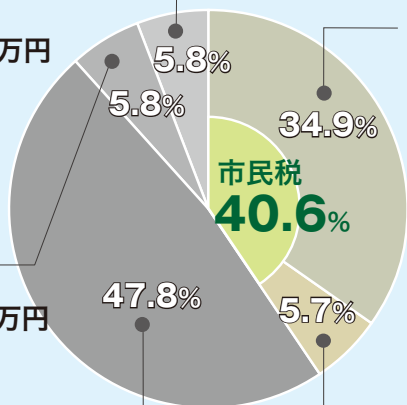
土地、家屋、償却資産など

個人市民税

142億4938万円

法人市民税

22億9982万円



貯金と借金

貯金(基金)

年度間の財源調整をする財政調整基金の他、教育、文化振興、災害対策など特定の目的で積み立てる資金です。

基金の合計額

245億9057万円
(本年度末見込み額)

借金(市債)

学校や道路など、長期にわたって使用する公共施設の整備に必要な市債(長期借入)を発行します。

市債の残高

602億8685万円
(本年度末見込み額)

歳出

どんなことに使われているの？

目的別

福祉や教育など、行政の目的に着目した歳出の分類

その他

185億4409万円

総務費、商工費、消防費など

公債費

53億3833万円

借り入れた市債の返済

教育費

77億6244万円

学校教育、社会教育、スポーツ振興など

衛生費

97億9197万円

健康増進、疾病予防、環境対策、ごみ処理など

民生費

347億5581万円

高齢者や子育てなどの福祉サービス

39.9%

全体の約4割が
社会保障費

21.3%

6.1%

8.9%

11.2%

12.6%

土木費

110億736万円

道路や公園・河川の整備など

性質別

人件費や扶助費など、経費の経済的性質に着目した歳出の分類

その他

195億4936万円

維持補修や団体への運営費補助金、基金への積立金など

公債費

53億3833万円

公共事業などの財源として借り入れた市債の返済

普通建設事業費

88億1872万円

道路や公園などの公共施設の建設・改良工事など

扶助費

203億8744万円

児童手当や子育てなどの福祉サービスなど

人件費

171億5228万円

職員給料や議員の報酬など

物件費

159億5387万円

公共施設の施設運営費や消耗品など

22.4%

23.4%

6.1%

10.1%

18.3%

19.7%

詳しくは

1 命と財産を守る 安心・安全に暮らせるまち

地震や風水害に備え、災害対応力や消防力を充実させます。

目玉事業

大規模災害時に電力供給が可能 指定避難所等強化事業

新規

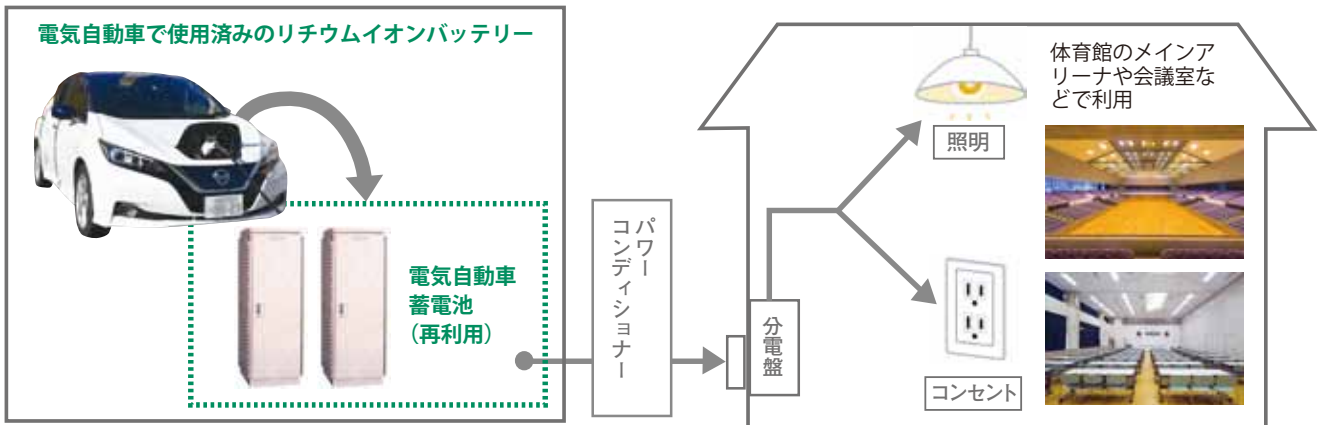
3770万円 危機管理課

大規模災害時、指定避難所や救援物資の集積拠点となる荻野運動公園に、電気自動車の蓄電池を再利用した非常用電源設備を整備します。停電時でも電力を確保し、機能を維持します。



災害時の拠点である荻野運動公園に整備

電気自動車の蓄電池を再利用した 非常用電源イメージ



気象データの取集体制を強化 風水害等対策事業

拡充

1260万円 危機管理課

市内の降雨量などをより細かく把握するため、気象観測装置を3カ所増設します。合計8カ所で気象データを収集し、風水害への備えを強化します。

設置済(5カ所)	<ul style="list-style-type: none"> ①市役所本庁舎 ②北消防署 ③依知分署 ④玉川分署 ⑤相川分署 	+	(3カ所追加) 21年度	<ul style="list-style-type: none"> ①玉川中 ②上依知小 ③小鮎小
----------	---	---	-----------------	---



市役所本庁舎の気象観測装置

目玉事業

消防・防災機能の拠点が21年度に完成

南毛利・相川分署整備事業 拡充

約9.3億円 消防総務課

消防・防災拠点である南毛利分署と相川分署を移転整備します。



南毛利分署完成イメージ

特徴

- ①県道と市道の双方向から出動可能
- ②分署庁舎を有効活用した訓練施設
- ③消防団の器具置場を併設

22年1月上旬
供用開始

大規模災害時に消防活動の拠点となる機能を備えた「拠点機能形成車」



相川分署完成イメージ

特徴

- ①災害に備え自家用給油施設を設置
- ②大型の拠点機能形成車を配備
- ③高さ約17mの訓練棟を設置

21年12月下旬
供用開始

風水害への対策を強化

拡充

公共下水道浸水対策事業

14.2億円 下水道施設課

浸水被害の軽減に向けた整備を進めます。

●厚木排水区浸水対策

北貯留管整備事業

厚木中央公園から大型バス発着場北側までの雨水貯留管を整備。

●恩曾川左岸第6排水区浸水対策事業

栄町2丁目と恩名1丁目の浸水対策のため、雨水排水区の見直しや段階的な整備を実施。



厚木排水区浸水対策北貯留管を掘削するシールド先端部

23年
供用開始

災害に強いまちづくりを推進

新規

防災・減災関連計画策定事業

1000万円 危機管理課・都市計画課

大規模な災害に備え、安心・安全なまちづくりに向けた新たな計画を策定します。

●本厚木駅周辺地域都市再生安全確保計画改定事業

新型コロナウイルス感染症などを考慮し、帰宅困難者対策を見直し。

●防災都市づくり計画策定事業

ハードとソフトの総合的な「減災対策」と、被災時に迅速な復旧・復興を進める手順などを事前に決める「復興事前準備」の二本柱で計画を策定。



感染症対策を踏まえた避難所開設の例

2 住まいと生活利便施設をより近く 誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができるまち

暮らし続けられる住環境や施設、交通網の整備に取り組みます。

目玉事業

持続的に発展し続ける都市づくりのために

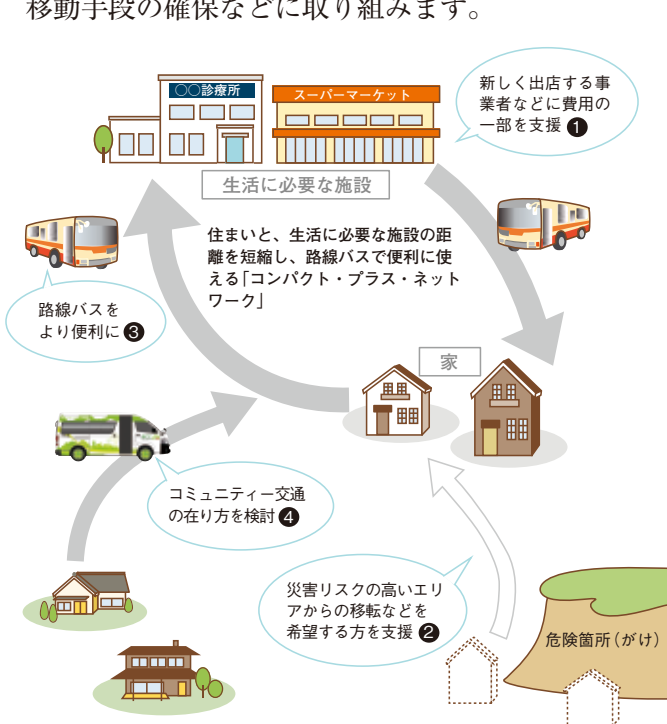
コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業

新規

約4738万円

都市計画課

人口減少や超高齢社会の進展に備え、地域で快適に暮らせるよう、生活に必要な店舗や診療所の開設の促進、移動手段の確保などに取り組みます。



コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業のイメージ

①生活利便施設立地促進事業

県内初

スーパーや診療所などが不足している地域で新しく出店などをとする事業者に対し、施設整備費などの一部を支援

②居住誘導区域(がけ地近接等危険住宅)移転事業

県内初

災害リスクの高いエリアからの移転などを希望する方に対し、除却費などの一部を支援。市で定める居住誘導区域内に移転する場合は、移転費などの一部も支援

③公共交通利便性向上事業

中心市街地へのアクセス性向上や路線バスの定時性、速達性確保のため、国道246号水引交差点付近のバス路線の交通混雑解消に向け、信号制御やバスレーンなどの検討を実施。また、交通混雑緩和の効果を検証し、最適な信号の案を作成

④コミュニティ交通導入検討事業

必要性が高い地域の特性に合った運行方法を検討



厚木環状3号線は、いよいよトンネル工事が完了 街路整備事業

約20.4億円 道路整備課

安全で快適な交通ネットワークを形成するため、厚木環状3号線・本厚木下津古久線などの都市計画道路を整備します。

22年
一部開通



厚木環状3号線トンネル工事

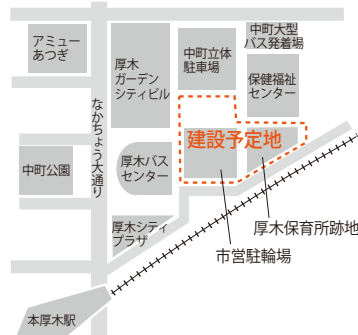
複合施設と周辺交通アクセス整備の推進

中町第2-2地区周辺整備関連事業

約4.3億円 市街地整備課・青少年課・中央図書館・道路整備課

拡充

中心市街地の新たな中核拠点となる図書館・(仮称)未来館・市庁舎などで構成する複合施設の基本設計に着手。便利な交通動線の確保に向け、測量・予備設計を実施します。



現在の中町第2-2地区

都市機能の集積や交通結節機能の充実に向けて
本厚木駅北口周辺整備関連事業

約1864万円 市街地整備課

本厚木駅前北口広場と周辺地区の再整備に向けて、市街地再開発準備組合を支援し、権利者と具体的な事業計画の策定に取り組みます。



現在の本厚木駅北口

産業用地創出・企業誘致に向けて

酒井・森の里東土地地区画整理推進事業

まちづくり推進課

拡充

各土地地区画整理組合への支援に加え、関連する水路などを整備します。

■酒井地区

約7.4億円

■森の里東地区

約1.8億円



酒井地区(整備中)

24年度
整備完了

A工区…企業2社が操業中
B工区…20年6月整備完了。
企業1社操業開始
C工区…23年度整備完了・企業立地

23年度整備完了・
企業立地



B工区(整備完了)



C工区(整備中)

3 より便利で環境に優しいまちへ デジタル化の推進及び自然環境と共生した持続可能なまち

デジタル化や脱炭素・循環型社会の実現に向けた取り組みを進めます。

目玉事業

1人1台のパソコンを効果的に活用

GIGAスクール推進事業 新規

約1070万円 教育研究所

モデル校への支援員の配置や、教職員による研究・情報交換を通して、情報通信技術を効果的に活用した授業ができる環境づくりを進めます。



目玉事業

スマホでAYUCOが使える

子育てパスポート電子化 リニューアル事業 新規

約328万円 商業にぎわい課

従来の紙のカードを電子化し、子育てパスポートのカード提示や店舗検索などが簡単になります。



目玉事業

エネルギーの循環を実現

EVごみ収集車導入事業 新規

152万円 環境事業課

脱炭素社会を目指し、電気をエネルギー源とするEVごみ収集車を導入します。集めたごみを焼却する際に発電した電気を活用します。

全国で
4市目



EVごみ収集車のイメージ

電子書籍の閲覧や貸し出しをスタート

新規

電子図書館事業

704万円 中央図書館

地理的、身体的要因から図書館利用が困難な方や、新型コロナウイルス感染防止対策として外出を自粛されている方も、自宅にいながら手軽に本を読めるようになります。



ごみ+ミニマム=ごみニマムシティを目指して
ごみ減量化・資源化推進事業

拡充

約11.7億円 環境事業課

現在4中学校に設置している、生ごみを地中分解する処理機を増設する他、資源物の回収・リサイクルに取り組み、ごみの減量化・資源化を進めます。



市内中小企業のテレワーク導入を後押し

テレワーク導入支援補助金

約300万円 産業振興課

新型コロナウイルス感染拡大対策と働き方改革を目的に、新たにテレワークを導入する企業を支援します。

災害時に備えて新たに14カ所に整備
公衆無線LAN整備事業

拡充

約886万円 情報政策課

災害時の避難者などへの情報収集支援、公共施設の利用者の利便性の向上を目指し、公衆無線LANサービス「アツギ フリー ワイファイAtsugi Free Wi-Fi」を市内14公民館に整備します。



本庁舎など公共施設や、本厚木駅・愛甲石田駅周辺エリア
全14カ所

+

新規追加
公民館
14カ所

4 将来都市像の実現に向けて 新たな総合計画の推進

子育て支援や福祉の向上などにも取り組みます。

目玉事業

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサポート

母子支援関連事業

新規

約**2.6億円** 健康づくり課

産前産後の家庭に切れ目のない支援をするため、健診費用の助成や産後ケアの実施など、新たに母子への支援を開始。若者が安心して子どもを育てられる環境を整えます。



妊娠期

●妊婦健康診査

妊婦健診の受診費用を助成。
【助成額】8万円(1万円×2回+5000円×12回)
多胎妊娠の方はさらに5000円×5回分を助成

出産期

●産婦健康診査

産後間もない時期(産後2週間・1カ月など)に心や体、授乳の状況などを確認する、健康診査の受診費用を助成。
【対象】全ての産婦
【助成額】1回5000円を上限(2回まで)

●産後ケア

出産後のお母さんと赤ちゃんの休養の機会、心身のケアや授乳指導、育児サポートなどを実施(デイケア型)。
【対象】産後5カ月未満の母子など(父親、養親、里親も対象者に含む)
【自己負担】1日2500円程度(非課税世帯は一部免除)

子育て期

●新生児聴覚検査

【対象】生後60日までの乳児
【助成額】3000円を上限(1回)

目玉事業

幼児期からの医療的ケアをサポート

医療的ケア児訪問看護支援事業

新規

約**1060万円**
障がい福祉課

訪問看護師を派遣する体制をつくり、導尿や経管栄養などが必要な障がい児が、公立保育所や市立小・中学校に通える環境を整えます。



目玉事業

子育て世代の厚木定住を応援

若年世帯住宅取得支援事業補助金

新規

3700万円 住宅課

子育て世代が新たに戸建て住宅・分譲マンションを取得する際に補助します。

補助額

【基本額】20万円
【加算額】地域加算・在勤加算各10万円

補助要件

①世帯に中学生以下の子がいる②世帯主または配偶者が40歳未満③補助対象住宅に3年以上居住予定④の全てを満たす世帯



厚木に就職する若者を応援

勤労者奨学金返済助成金約**600**万円 産業振興課

新規

市内企業の人材確保、若者勤労者の市内定住を促進します。

補助額1年間の奨学金返済額の1/2
(上限12万円) 最長7年間

市権利擁護支援センターがサポート

高齢者の尊厳保持支援事業約**2303**万円 介護福祉課

拡充

高齢者がいつまでも尊厳を持って自分らしい生活を送れるよう、支援体制を充実します。

発達障がいに関するサポート体制を充実

障害者相談支援事業約**1.2**億円 障がい福祉課

拡充

障がい者基幹相談支援センターに発達障がいの相談支援専門員を配置し、相談支援体制を強化します。

5 終息に向けた支援を継続 感染症対策

拡大予防や経済支援を進めます。

市民の方の接種を開始

新型コロナウイルスワクチン接種事業約**10.6**億円 健康づくり課

拡充

国や県と連携しながら会場の手配や医療機関との調整を進めます。



交付事務をスムーズに

マイナンバーカード交付円滑化事業約**6838**万円 市民課

申請数の増加が見込まれるマイナンバーカード交付の際の感染リスクを軽減するため、窓口での待ち時間短縮や混雑緩和を目指します。

公共交通車両のコロナ対策を推進

公共交通車両等感染拡大防止支援事業補助金**1992**万円 都市計画課

拡充

市民の皆さんが安心して公共交通機関を利用できるよう、事業者の感染拡大防止対策に係る経費を補助します。

対象・補助額バス事業者：1台10万円
タクシー事業者：1台1万円
鉄道事業者：1駅10万円

サービス提供者の感染症対策を支援

介護保険サービス事業所等支援事業補助金**6670**万円 介護福祉課

介護保険サービス事業所などがサービスを継続できるよう、感染症拡大防止に必要な経費を補助します。

対象

介護保険サービス・障害福祉サービス提供事業所など

補助額利用定員50人以上の施設サービス事業所：上限30万円
利用定員50人未満の施設サービス事業所：上限20万円
居宅サービス提供事業所：上限10万円

次の12年間にに向けて

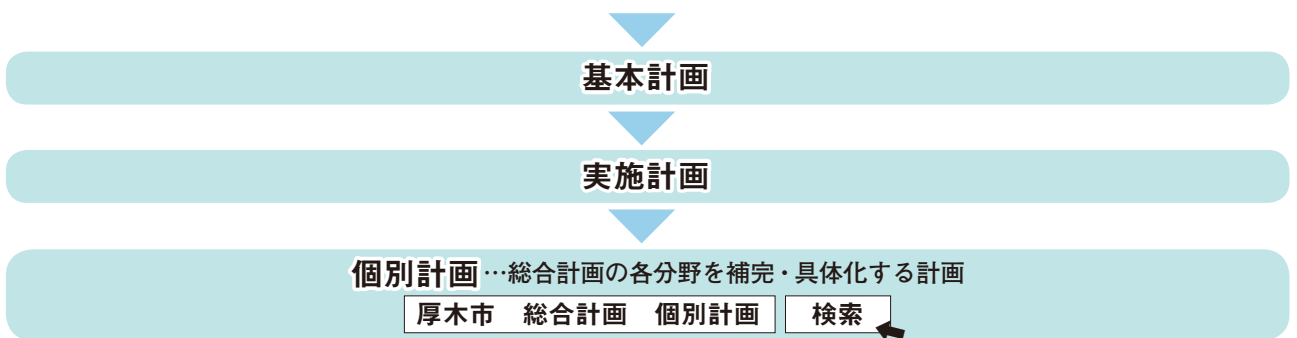
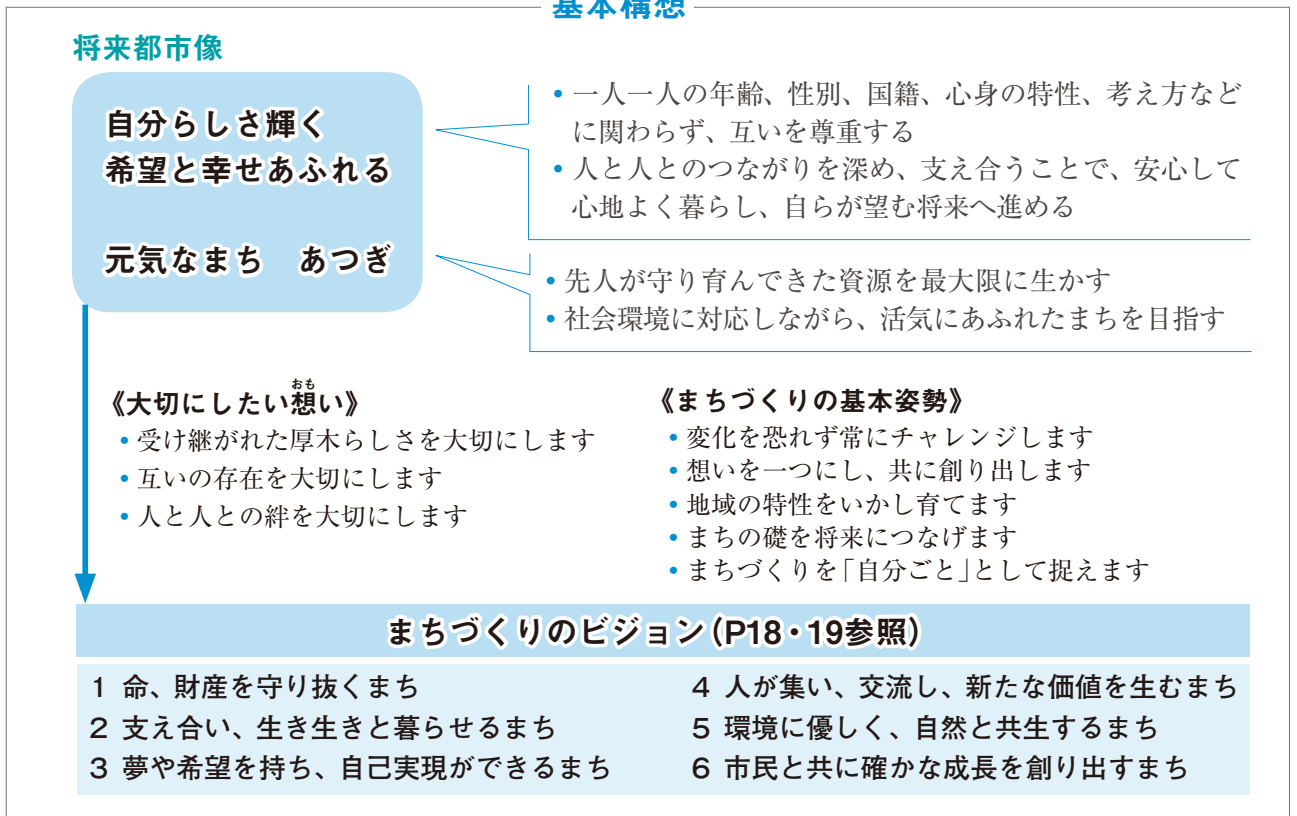
新たな総合計画が スタート

将来のまちの姿と進むべき方向を定めた計画が4月から始まります。市民の皆さんと一緒に、新しい厚木をつくります。

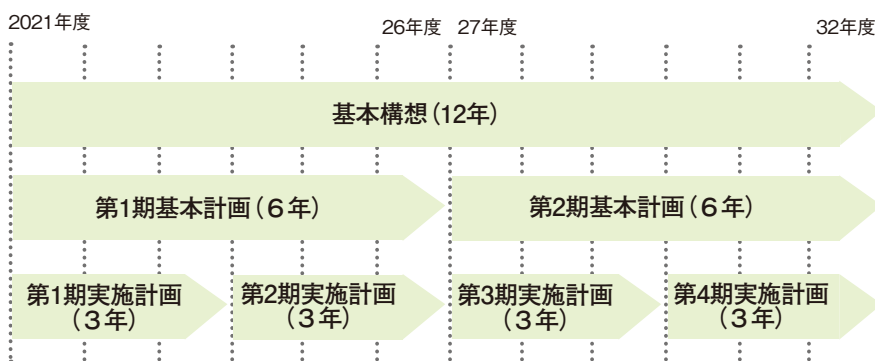
☎企画政策課 ☎225-2455

■構成

総合計画



■期間



基本計画は、まちづくりのビジョンに基づき、施策の方針などを6年ごとに定めたものです。実施計画は、基本計画に基づき、具体的な事業を3年ごとに定めたものです。次年度に活用するため、毎年、達成状況を振り返ります。

■基本計画の考え方

第1期基本計画では、二つの中長期的な視点、三つの重点項目を位置付け、分野を横断して取り組みます。

中長期的な視点① 地域包括ケア社会の実現



市では、住まいを中心に医療や介護、介護予防、生活支援のサービスを一体的に受けることで、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられる社会(地域包括ケア社会)の実現を目指しています。子育て、教育、就労、道路や設備の整備でも福祉の視点を持ち、取り組みを進めます。

中長期的な視点② SDGsの達成



SDGs (Sustainable = 持続可能な Development = 開発 Goals = 目標)とは、誰一人取り残さない社会を目指し、貧困や格差、食料・エネルギー不足、温暖化など、地球全体が抱える課題を解決するために国際連合が定めた目標です。経済・社会・環境をめぐる広い課題に対し、市も率先して取り組みます。

重点項目

① 安心・安全に暮らせるまち

設備や計画を整備し、ハード・ソフト両面から防災・減災のまちづくりを推進します。



② 誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができるまち

中心市街地の都市機能や産業拠点などの都市基盤を整えるとともに、コンパクト・プラス・ネットワーク(※)型の都市づくりを推進します。

※住まいと、スーパーや診療所などの生活に必要な施設の距離を短縮し、公共交通機関でつながれた都市の形態。人口が減り高齢化が進んでも、自家用車を使わなくても便利に暮らせることを目指して進められています。

③ デジタル化の推進及び自然環境と共生した持続可能なまち

経済成長と環境に優しいまちづくりを両立させ、「新たな日常」を踏まえた社会のデジタル化への対応、脱炭素・循環型社会の実現への取り組みなどを進めます。



■ビジョン別プラン

まちづくりのビジョンに基づき、行政が取り組むことを紹介します。

1 命、財産を守り抜くまち



下校の見守り

- 災害に強いまちの実現
- 消防力の充実・強化
- セーフコミュニティの推進

例えば…

- 災害時の情報発信
- 消防・救急体制強化の
などに取り組みます

2 支え合い、生き生きと暮らせるまち

- 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現
- 子育て環境の充実
- 健康寿命延伸の推進
- 多様性の尊重と平和都市の推進

例えば…

- 地域の見守り活動の充実
- 子育て世帯への紙おむつなどの配送
などに取り組みます



3 夢や希望を持ち、自己実現ができるまち



- 学校教育の充実
- 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進
- 文化芸術の振興
- 生涯スポーツの振興

例えば…

- 授業の補助や悩み相談などに対応する
さまざまな支援員の配置
- 郷土文化の推進と発信
などに取り組みます

4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち

- 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進
- 魅力ある中心市街地等の形成
- 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現
- 産業・商業の振興
- 安心して働くことができるまちの実現
- 観光の振興
- シティプロモーションと定住促進
- 農業・林業・水産業の振興

例えば…

- 道路ネットワークの形成
- 企業への融資など経済支援などに取り組みます



人々にぎわう本厚木駅前

5 環境に優しく、自然と共生するまち

- 地球温暖化対策の推進
- 未来へつなげる循環型都市の実現
- 自然との共生の推進
- 緑豊かで美しいまちの実現
- 河川と共生するまちの実現

例えば…

- ごみの減量
- 親しみやすい水辺環境の整備などに取り組みます



相模川クリーンキャンペーン

6 市民と共に確かな成長を創り出すまち

- 市民参加・市民協働の推進
- 行財政改革の推進
- 都市間連携の推進

例えば…

- 地域コミュニティー活動の支援
- 電子化による手続きの効率化などに取り組みます



総合計画策定に向け市民から意見を募った「ワールドカフェ」



詳しくは、市政情報コーナーや公民館、市ホームページで確認できます。

厚木市 総合計画

検索



公式ハッシュタグ

niceatsugi

厚木の素敵な時間をシェアしよう



◀Instagram
市公式アカウント
atsugi_city



◀Twitter
広報課公式アカウント
@AtsugiCity_PR